

第220回

# 柏崎しんきん地区内経済指標

(平成26年7月)

 柏崎しんきん

(平成8年4月 創刊)

## 1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,499	-0.97	0.04	4,137	0.60	0.31
東部地区	14,221	-0.28	0.11	5,741	0.66	0.03
西部地区	10,389	-0.16	-0.01	4,026	0.95	0.00
駅南地区	6,325	-0.07	-0.33	2,792	1.15	-0.42
半田地区	3,694	-0.18	-0.02	1,400	0.00	-0.07
横山地区	5,547	-0.92	-0.09	1,957	1.18	0.00
茨目・田尻地区	7,023	0.21	-0.12	2,497	1.66	0.04
荒浜地区	4,979	-1.19	-0.22	2,014	0.00	0.00
その他地区	19,257	-1.90	-0.14	7,107	-0.58	-0.09
西山町地区	5,940	-2.19	-0.03	2,129	-0.56	0.00
高柳町地区	1,648	-4.01	-0.48	781	-1.88	-0.63
柏崎市計	88,522	-0.93	-0.07	34,581	0.37	-0.02
刈羽村	4,810	-0.20	0.04	1,578	0.50	0.06
小国地区（長岡市）	5,829	-2.63	-0.13	2,107	-1.31	-0.14
出雲崎町	4,785	-2.38	-0.33	1,760	-1.23	-0.39
合計	103,946	-1.06	-0.08	40,026	0.21	-0.04

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は前年同月比では、すべての市町村・地区で減少しており、柏崎市で837人、0.93%、刈羽村で10人、0.20%、小国地区（長岡市）で、158人、2.63%および出雲崎町で117人、2.38%と減少したことから、全体では1,122人、1.06%の減少となる。また、前月比では、柏崎市で66人、0.07%、小国地区で8人、0.13%および出雲崎町で16人、0.33%と減少したものの、刈羽村で2人、0.04%増加したことから、全体では88人、0.08%の減少となる。

世帯数の前年同月比では、柏崎市で128世帯、0.37%、刈羽村で8軒、0.50%増加しているが、小国地区で28世帯、1.31%および出雲崎町で22世帯、1.23%が減少したことから、全体では86世帯、0.21%の増加となった。また、前月比では、刈羽村で1世帯、0.06%と増加しているが、柏崎市で9世帯、0.02%、小国地区で3軒、0.14%および出雲崎町で7世帯、0.39%の減少により、全体では18世帯、0.04%の減少となっている。

## 2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,874		25.35		8.38	
月間有効求職者	1,766		-8.59		-2.64	
月間有効求人倍率	1.06	1.16	0.29*	0.21*	0.11*	0.00*

\*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）では、月間有効求人数が1,874人と前年同月比で379人、25.35%増加している。また、前月比においても145人、8.38%増加している。

月間有効求職者数は、1,766人と前年同月比で166人、8.59%減少となっており、前月比でも48人、2.64%減少している。

以上の結果、月間有効求人倍率は1.06倍と前年同月比で0.29ポイント上回っており、前月比でも0.11ポイント上回った。柏崎職業安定所管内で有効求人倍率が1倍以上となったのは、平成20年9月以来となる。なお、県平均1.16倍と比べると0.10ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が729人と前年同月比で106人、17.0ポイント増加、月間新規求職者数が436人と前年同月比で62人、12.4ポイント減少した結果、月間新規求人倍率は1.67倍となり、前年同月の1.25倍に比べて0.42ポイント上回っている。

### 3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成25年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	31	-6	-7	121	-39
共 同 住 宅	1	1	-3	5	-1
事 務 所	2	0	2	3	-1
作 業 所・工 場	0	-1	-2	3	1
営 業 建 物	1	0	-4	9	1
公 共 建 物	0	0	-1	1	-1
そ の 他	2	-11	-5	40	-9
合 計	37	-17	-20	182	-49

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が37件と前年同月比では17件の減少となる。工種別内訳の増減をみると、前年同月比で共同住宅で1件増加しているが、一般住宅(併用)で6件、作業所・工場で1件、その他で11件減少している。

なお、工種全体の申請内容は、新築が30件となっており、また一般住宅(併用)31件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況では、市内施工業者が21件(うち新築16件)、市外施工業者が10件(うち新築9件)となっている。

### 4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,986	0.67	0.10	14,825	-9.70	2.24
電 力	9,783	-2.61	-0.27	41,474	-0.37	7.97

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。  
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比では444口、0.67%の増加。前月比でも69口、0.10%の増加となっている。一方、電力においては、前年同月比では263口、2.61%の減少。前月比でも27口、0.27%の減少となっている。

使用量においては、電灯が前年同月比では1,593kwh、9.70%の減少。前月比では、325kwh、2.24%の増加となっている。電力においては、前年同月比で157kwh、0.37%の減少。前月比においては、3,064kwh、7.97%の増加となった。

### 5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m<sup>3</sup>、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	701,147	-2.93	-24.73	685,678	-2.88	-5.08
営 業 用	224,162	1.71	16.78	120,798	-0.26	-1.18
工 業 用	833,818	-2.47	3.72	114,722	-5.72	2.92
官 公 学 校 用	334,123	-3.13	27.68	91,508	-6.42	3.42
そ の 他				60	-77.94	-52.38
合 計	2,093,250	-2.30	-4.37	1,012,766	-3.26	-3.06

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で49,401m<sup>3</sup>、2.30%の減少、前月比でも95,838m<sup>3</sup>、4.37%の減少となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比では営業用のみ増加、前月比では家庭用のみ減少している。

一方、水道給水量は、前年同月比で34,145m<sup>3</sup>、3.26%の減少、前月比においても31,987m<sup>3</sup>、3.06%の減少となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比では全ての用途で減少している。前月比では、家庭用・営業用で減少している。

## 6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	92,490	-3.38	14.44	96,232	-4.98	14.34
西 山	41,875	-7.49	12.70	39,021	-7.89	15.19
米 山	24,765	-5.02	30.74	23,214	-6.06	29.85
合 計	159,130	-4.75	16.22	158,467	-5.87	16.59

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の高速道路出入口での交通量は、入口が全体では前年同月比で7,942台、4.75%の減少となっているものの、前月比においては22,215台、16.22%の増加となっている。

出口においても、同様に、全体では前年同月比で9,894台、5.87%の減少となっているものの、前月比においては22,556台、16.59%の増加となっている。

インター別の前年同月比および前月比を見ると、全ての入口・出口で前年同月比は減少しているものの、前月比では増加している。

## 7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	374,039	2.73	-0.11	143,291	-1.13	-0.37
平 残	375,995	2.72	-0.26	143,105	-0.99	0.25

預金は、末残が前年同月比で9,950百万円、2.73%の増加となっているものの、前月比においては、416百万円、0.11%の減少となっている。平残では、前年同月比で9,988百万円、2.72%の増加となっているが、前月比では、981百万円、0.26%の減少となっている。

一方、貸出金は、末残が前年同月比で1,641百万円、1.13%の減少。前月比でも539百万円、0.37%の減少となっている。平残においては、前年同月比で1,440百万円、0.99%の減少となっているものの、前月比では、360百万円、0.25%の増加となっている。

## 8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	26,663	-15.78	-4.09
交 換 金 額	19,689	-17.13	-8.06
不 渡 り 手 形 枚 数	0	-100.00	-100.00
不 渡 り 手 形 金 額	0	-100.00	0.00

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で4,988枚、15.78%の減少、前月比でも1,138枚、4.09%と減少している。また、交換金額においても前年同月比では4,071百万円、17.13%の減少、前月比でも1,727百万円、8.06%と減少している。なお、不渡手形は発生していない。

法的整理(負債1,000万円以上)による県内企業倒産は、10件(前年同月9件、前月2件)と前月比で増加、負債総額62.6億円(同17億円、同2.0億円)と大型倒産(負債総額49.3億円)の影響から大幅増となっている。地区別では下越地区で4件(新潟市3件、燕市1件)、中越地区で4件(長岡市2件、魚沼市1件、柏崎市1件)、上越地区で2件(上越市1件、糸魚川市1件)発生している。

業種別は、建設業で4件、製造業・小売業で各2件、卸売業・サービス業で各1件発生となっている。また、倒産原因の状況については、販売不振が10件全てとなっている。

県内経済は、緩やかに持ち直しているものの、消費増税に伴う駆け込み需要の反動減が生じており、個人・企業等で弱い動きもみられる。原材料や燃料価格の上昇のほか、円安など企業を取り巻く目先の環境は依然として厳しい状況が続いており、中小企業を中心とした企業の動向には引き続き注意が必要である。